



北島町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が要因と見られる気候変動の影響により、世界各地で大規模な自然災害が頻発しています。我が国においても集中豪雨や大型台風、猛暑などの異常気象により甚大な被害が発生しています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2°C未満とし、1.5°Cに抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書においては、「気温上昇を2°Cよりリスクの低い1.5°Cに抑えるためには、2050年度までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされており、この目標達成に向け、国からは、地方自治体や民間企業、NPO等による取組の重要性が示されています。

北島町においても、将来にわたって町民が安心して暮らすことができる環境を実現し、また次世代につないでいくため、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロにするゼロカーボンシティの実現に向けて取組を進めることをここに宣言します。

令和3年10月1日

北島町長

古川保博